

第33回 国民文化祭・おおいた2018
第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会



「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」いよいよ開幕！

～概要～

「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の会期中、中津市ではリーディング事業「なかつ水灯り2018」および3つの分野別事業を開催します。新たなアート事業の創造と多彩な分野別事業の実施を通じて、歴史と文化の香るまち中津の魅力を発信するとともに、地域の活性化と芸術文化を担う人材の育成につながります。

※リーディング事業とは、各市町村の核となるメイン事業

～事業内容～

■リーディング事業「なかつ水灯り2018」

中心市街地と耶馬溪地域において、高橋匡太氏によるライティングプロジェクトを行うとともに、中山忠彦氏、北村直登氏、「国東時間」の企画展や障がい者アート作品展を巡りながら、まちあるきを楽しめる「まちなかアートプロジェクト」を開催します。

会期：10月6日（土）～11月25日（日）

開会式：10月6日（土）10時～ 小幡記念図書館研修室（「障がい者アート作品展」会場）

※開会式終了後、各会場をご案内します

○高橋匡太によるライティングプロジェクト・・・（別紙①参照）

「Moon River」

会期：10月6日（土）～11月25日（日） 点灯時間：17時～22時

会場：日ノ出町商店街、新博多町商店街

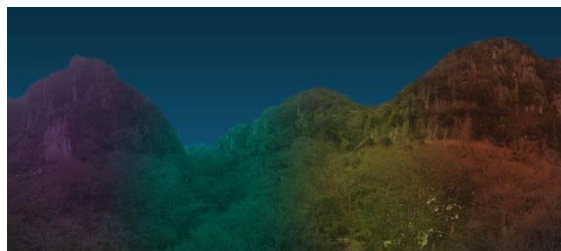
「耶馬溪ライトアップ（新・一目八景）」

会期：11月10日（土）～11月18日（日） 点灯時間：17時～22時

会場：一目八景展望台



「Moon River」展示イメージ



「耶馬溪ライトアップ」イメージ

○まちなかアートプロジェクト

会期：10月6日（土）～11月25日（日） 時間：9時～17時 火曜日休館

「障がい者アート作品展」 会場：小幡記念図書館研修室 無料・・・（別紙②参照）

「中山忠彦展－美の追求－」 会場：木村記念美術館 有料（一般200円、中学生以下無料）

「国東時間のモノづくり－ヒトノカタチモノノイロー」 会場：南部まちなみ交流館 無料

「北村直登+ATELIER WORKS」 会場：商店街空き店舗（旧ナガト楽器）無料



中山忠彦



国東時間



北村直登

■分野別事業

○九州人形芝居フェスティバル

九州各地の伝統芸能の人形芝居・浄瑠璃団体が一堂に。人形浄瑠璃文楽の上演や人形作家（人形美術協会）による創作人形展示も同時開催します。

日時：10月21日（日）10時～17時 ※創作人形展示は、10月20日、21日の土日開催

会場：中津文化会館 入場料：500円

○小倉百人一首競技かるた全国大会

百人一首競技かるたの全国大会として、各県対抗の団体戦を開催。約400名の選手が、トップレベルの戦いを繰り広げます。

日時：10月27日（土）8時30分～19時 10月28日（日）8時30分～17時

会場：ダイハツ九州アリーナ 入場無料

○ミュージカル「山国川奇譚 鶴市愛歌」

山国川流域に伝わる「八幡鶴市神社縁起」のお鶴と市太郎母子の物語を、市民参加型のオリジナルミュージカルとして上演します

日時：11月18日（日）14時～16時

会場：中津文化会館 入場料：（前売り）一般1,200円 高校生以下800円

（当日）一般1,500円 高校生以下1,000円

※中津市実施事業の詳細については、チラシ・ポスター・市報・ホームページなどで随時お知らせをします。

【問合先】

社会教育課 担当:吉川

(TEL0979-22-4942 内線486)

NAKATSU
MIZUAKARI

2018



2018.10.6-11.25
NAKATSU OITA

第33回 国民文化祭・おおいた2018

第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

アートで巡る、
海と川が交わる町、
大分・中津。

リーディング事業

リーディング事業とは、各市町村の核となるメイン事業

中心市街地と耶馬溪地域において、高橋匡太氏によるライティングプロジェクトを行うとともに、中山忠彦氏、北村直登氏、「国東時間」の企画展や障がい者アート作品展を巡りながら、まちあるきを楽しめる「まちなかアートプロジェクト」を開催します。

高橋匡太によるライティングプロジェクト
Moon River

10.6 土 - 11.25 日 点灯時間 17:00-22:00
中津市中心市街地
日ノ出町商店街、新博多町商店街など

中津市の中心市街地の商店街を舞台に、幻想的な光のアートを市民とともに創ります。幾千人の想いをのせたボトルメールで商店街に「光の川」をつくるプロジェクト。中津市内の子どもたちをはじめとする数千人の人々が書いた手紙をボトルに詰め、光を灯して商店街のアーケードに展示します。展示期間中は鑑賞するだけでなく、商店街でボトルメールを創り、ほかの誰かの手紙と交換することができます。



耶馬溪ライトアップ(新・一目八景)

11.10 土 - 11.18 日 点灯時間 17:00-22:00
深耶馬溪エリア 一目八景

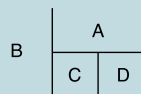
耶馬溪の壮大な自然・景観を活かしたライトアップを紅葉の時期に合わせて、期間限定で行います。一目八景から見える景色に様々な色のライトで彩りを加えます。



まちなかアートプロジェクト

- A 「障がい者アート作品展」
- B 「中山忠彦展-美の追求-」
- C 「国東時間のモノづくり
-ヒトノカタチモノノイロ-」
- D 「北村直登+ ATELIER WORKS」

10.6 土 - 11.25 日 9:00-17:00
中津市中心市街地
木村記念美術館
小幡記念図書館
南部まちなみ交流館など



※展覧会等のタイトルは変更になることがあります。

分野別事業

九州人形芝居フェスティバル



10.21 日 10:00-17:00
中津文化会館 ※創作人形展示は10.20 土 - 21 日
九州各地の伝統芸能の人形芝居・浄瑠璃団体が一堂に。人形浄瑠璃文楽の上演や作家による創作人形展示も同時開催します。

小倉百人一首競技かるた全国大会



10.27 土 8:30-19:00 / 10.28 日 8:30-17:00
ダイハツ九州アリーナ
百人一首競技かるたの全国大会として、各県対抗の団体戦を開催。約400名の選手が、トップレベルの戦いを繰り広げます。

ミュージカル「山国川奇譚 鶴市愛歌」



11.18 日 14:00-16:00
中津文化会館
山国川流域に伝わる「八幡鶴市神社縁起」のお鶴と市太郎母子の物語を、市民参加型のオリジナルミュージカルとして上演します。

10										11																																																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
Moon River										耶馬溪ライトアップ(新・一目八景)																																																	
まちなかアートプロジェクト																																																											
九州人形芝居フェスティバル (創作人形展示)										小倉百人一首 競技かるた全国大会																																																	
										ミュージカル 「山国川奇譚 鶴市愛歌」																																																	



〈主催〉文化庁／厚生労働省／大分県／大分県教育委員会／中津市／中津市教育委員会／第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会／第33回国民文化祭中津市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭中津市実行委員会

〈お問い合わせ〉中津市実行委員会事務局(社会教育課内)
〒871-8501大分県中津市豊田町14番地3 TEL: 0979-22-4942
FAX: 0979-22-1492 MAIL: syakaikyoku@city.nakatsu.lg.jp
www.city-nakatsu.jp/categories/kanko-navi/kanko_beginner/daichakai/



なかつ水灯り2018

高橋匡太によるライティングプロジェクト 中津市内各所

第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の中津市リーディング事業として、アーティスト高橋匡太による市民参加型のアートプロジェクトを行います。高橋匡太は主に光や映像を使った作品を制作するアーティストで、建築物をまるごとライトアップする大規模なプロジェクトから、一人一人の市民と向き合い協働を通して制作する作品など、国内外で活躍しています。中津市中心市街地エリアでは、約4,000個のLEDライトを使った新作を発表します。また耶馬溪エリアでは、大自然を舞台に大規模ライトアップを行います。

開催概要

名 称：なかつ水灯り 高橋匡太によるライティングプロジェクト

会場および会期：

中心市街地エリア 2018年10月6日(土)～11月25日(日)

耶馬溪エリア 2018年11月10日(土)～18日(日)

料 金：無料

主 催：第33回国民文化祭中津市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭中津市実行委員会

企 画：NPO法人BEPPU PROJECT

参加アーティスト



高橋 匡太(たかはし きょうた)

グッドデザインアワード2005(環境デザイン部門)をはじめ、2010年京都市芸術新人賞、日本照明学会照明普賞2017など多数受賞。2010年には世界最大のデザインイベント「ミラノサローネ」の参加アーティストに選出。2011年には国民文化祭京都2011の総合開会式オープニングショー芸術監督を務めるなど、日本を代表するライトアップアーティスト。

〈主な活動歴〉

2010年：ミラノサローネ出展 作品：Prism Liquid

2011年：“絹糸幻想” 国民文化祭京都2011総合開会式オープニングショー 芸術監督

2013年：愛知トリエンナーレ2013 作品：Glow with City Project

2014年：東京駅100周年記念ライトアップ

〈受賞歴〉

2005年：グッドデザインアワード2005 環境デザイン部門受賞

2008年：京都府文化賞 奨励賞受賞

2015年：受賞歴：DSA 日本空間デザイン賞2015 優秀賞受賞

大規模な建築物のライトアップを実施



東京駅100周年記念ライトアップ



築城400年記念二条城ライトアップ, 二条城, 京都



道後温泉本館ライトアップ

丹下健三が設計した国連大学をはじめ、安藤忠雄設計のシティハウス仙川など、著名建築家による建築物のライトアップを多数手がける。また、東京駅100周年記念や京都二条城400年記念の際にライトアップ演出を依頼されるなど、歴史的建造物のライトアップも行う。

多数の市民とともに作り上げるプロジェクトを多数実施



越後妻有 雪花火



ひかりの実



提灯行列 Glow with City Project

大規模なライトアップだけでなく、市民が参加することで成り立つプロジェクトも多く実施。都市の中を3,500名で光とともに練り歩く「提灯行列 Glow with City Project」や、新潟県越後妻有で実施している3万個のLEDライトを使った「雪花火」など。「雪花火」は越後妻有で毎年恒例の行事になっており、2017年は5,400名が訪れた。

プロジェクトについて

Moon River

中津市の児童が書いた未来の友人宛のボトルメール約4,000個に光を灯し、商店街アーケードに設置します。商店街を流れるような「光の川」は圧巻。来場者もボトルメールを書き、児童が書いたものと交換できる参加型の作品です。会期終了後には、どこかの誰かが書いたボトルメールを児童のもとに届けます。

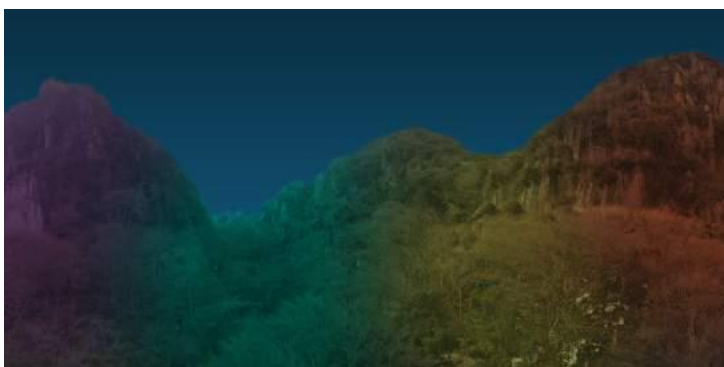


展示のイメージ



小学校ワークショップの様子

耶馬溪ライトアップ『新・一目八景』(仮)



展示のイメージ

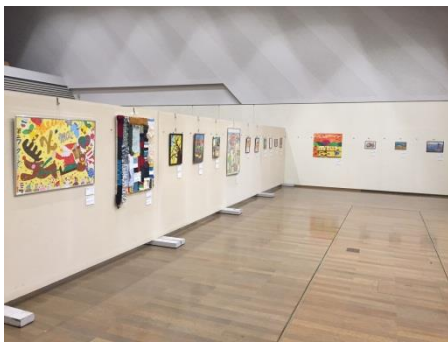
深耶馬溪の一眼八景から見える景色に様々な色のライトで、彩りを加えます。地域の方がとともに奇岩にまつわる物語を作り上げ、大自然を舞台にした、大規模なライトアップを紅葉の時期、期間限定で行います。

障がい者アート作品展（障害者芸術・文化祭事業）について

○障がい者アート作品展（10/6～11/25、小幡記念図書館）

中津市を含む周防灘地域を中心に、障がいのある方の制作したアート作品を公募・展示する作品展です。水・川・森・山・自然など、地域のゾーンテーマである「水の森」をイメージさせるような作品と自由テーマの作品を募集し、文化祭の期間中、小幡記念図書館で展示します。

作品展初日には、同会場で障がい者によるミニ音楽会も企画しています。



～関連イベント～

○「原野彰子」絵手紙展（10/15～10/26、市役所1階市民ホール）

中津市出身で、別府市を中心に活動している絵手紙作家の原野彰子氏と生徒さんの作成した絵手紙を市役所1階市民ホールに展示します。

原野氏は幼い頃に脳性小児麻痺を患い、車いす生活ながら、自ら車を運転し、県内各地で絵手紙を教えている活動的な方です。

○中津市障がい者ふれあいコンサート（10/24 13:30～、教育福祉センター）

市内の障がい者の方々による演奏や合唱、手品などを予定。特別ゲストとして熊本を中心に活動している寝たきりのお笑い芸人あそどっぐ氏によるお笑いライブなどもあります。

○映画鑑賞（10/27 13:00～、教育福祉センター）

鹿児島県の知的障がい者施設しょうぶ学園の日常を描いたドキュメンタリー「幸福は日々の中に。」を上映。入場無料。

【問合せ先】

社会福祉課 担当:黒川

(TEL0979-22-1111 内線 296)

第33回 国民文化祭・おおいた2018
第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会



～「障がい者アート作品展」関連イベント～

中津市・宇佐市の
生徒さんの絵手紙
も展示します！

原野彰子 絵手紙展

開催期間: 10月15日(月)～10月26日(金) (中津市役所 1階 市民ホール)



【経歴】

- 1968年 大分県中津市に生まれる
- 1972年 脳性小児麻痺による体幹機能障害
- 1983年 つくし園通園
- 1989年 別府農協リハビリテーションセンター入所
- 1990年 車いす生活ながら自動車運転免許取得
- 1998年 絵手紙に出会う
- 1999年 絵手紙の創始者:小池邦夫先生と出会う
- 2000年 一日一枚、小池先生へ送る絵手紙スタート
- 2001年 初個展、『小池先生へ送った365日の絵手紙展』開催
- 2004年 日本絵手紙協会認定講師免許取得
- 2005年 別府農協リハビリテーションセンター退所
別府市内で自立生活開始
- 2005年 元気のでるアート！活動開始
- 2016年 大分合同新聞『わくわくほのぼの絵手紙』
選考委員

幼い頃に脳性小児麻痺を患い、体幹機能障害で車いす生活となるが、自動車運転免許を取得し、自ら車を運転するなど活動的に行動されています。

現在、絵手紙教室や大分県地域福祉推進室主催のユニバーサルデザイン出前授業外部講師として活躍されており、これまでに個展や障がいのある仲間との『元気のでるアート！』で作品の発表をするなど活躍しております。





幸福は日々の中に。

「普通」という曖昧な海を泳いでいるみんなへ。

知的障がい者施設

鹿児島しよぶ学園



監督・脚本・撮影：茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル <http://silentvoice.jp/whilewekissthesky/>

録音：ウエヤマトモコ、茂木綾子、編集：茂木綾子、フリッツ・パウマン 音楽：福森伸、フレッド・フリス(タイトル音楽) 演奏：otto&orabu、フレッド・フリス(タイトル音楽)

制作：silent voice、werner penzel film production プロデューサー：相澤久美、芹沢高志、ヴェルナー・ペンツェル 配給：silent voice 宣伝：佐々木瑠那

助成：文化庁文化芸術振興費補助金、日本財団 2015/日本/カラー/73分/16:9/HD ©silent voice/werner penzel film production

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

文化庁文化芸術振興費補助金
Agency of Cultural Affairs, Government of Japan

幸福は日々の中に。

僕たちは、彼らに社会の秩序というものを教える立場ではない。彼らから精神的な秩序を学ぶべきだ。学園長 福森伸



時が止まったような不思議な居心地の良さ、もしかしたら未来の世界なのか、そんな目眩のような感覚に襲われるのは何故だろう。しょうぶ学園では「ノーマル」と「スペシャル」の境界を超えて、私たちは「人」として日々なにを共有しているのか再確認することができる。

現代社会はさまざまな局面で、寛容さを失い始めているように思えてならない。この作品は、多様さとか寛容さとはなんなのか、説明抜きに伝えてくれるだろう。



今まで当たり前だと信じてきたことが、
少し違った風景となり見えてくるかもしれない。

しょうぶ学園のアート、クラフト作品の展示は東京都美術館の「楽園としての芸術」展(2015年)をはじめ全国各地で開催され、nui projectのシャツは初日でほぼ完売が定番。音楽隊のotto&orabuも日本各地で公演し、音楽家の高木正勝やUA、おおか静流らとの共演も多数。アート、クラフト、音楽ともに全国に熱烈なファンを持つ。作品に魅了されしょうぶ学園を訪れた人々は、園生が働くカフェでパスタを食べながら「人生が変わるような体験」と思わず口に出す…。不思議な風景に出会う73分。

90年代に伝説となったインディペンデント映画『ステップ・アクロス・ザ・ボーダー』を制作したドイツ人映像作家ヴェルナー・ペンツェルと、『島の色静かな声』(08)を制作した、写真家でもある茂木綾子による共同監督作品。

芸術という行為は、心の奥底で震えている命の鼓動の発散なのだと思う。

その鼓動を心から外に出すためには、心の摩擦がない

とても純粋な心の通り道が必要な気がする。

ミナ ペルホネン 皆川明



しょうぶ学園とは? (鹿児島市吉野町)
障がいを持つ人たちが地域社会でよりよく暮らしていくために、友好的で安全で、のびのび過ごせる環境を提供している。ものづくりを通し、人が本質的に備えている創造する力を引き出し、協働を通してよこびをわかちあえるコミュニティづくりを実践している。人と人がささえあい、つながりあい、作りだす暮らし、創造的な福祉事業の可能性に貢献し続けている。敷地内には、入所、通所のための施設に加え、カフェ、ペーカーリー、蕎麦屋、工房、ギャラリー、ショップなどが点在する。園生と職員による音楽隊otto&orabuは日本各地で公演している。

日 時：平成30年10月27日(土) 13:00開演(12:30開場)

場 所：中津市教育福祉センター 多目的ホール

主催・問合せ：中津市障がい者等基幹相談支援センター、中津市社会福祉課

電話0979-26-1555 FAX0979-26-1556

無 料